

# 玉垣小学校だより

令和８年１０月１５日（木）学校通信　第１１号

## こどもたちの頑張りと今後に向けて～全国学力･学習状況調査結果より～

令和８年４月に実施された、全国学力・学習の結果が公表されました。

学校では、結果を基に学習指導の充実や学習状況の改善に役立てていきたいと考えております。御家庭でも御理解・御協力をお願いします。なお、調査により測定できるのは学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面であることを申し添えます。

１　調査事項

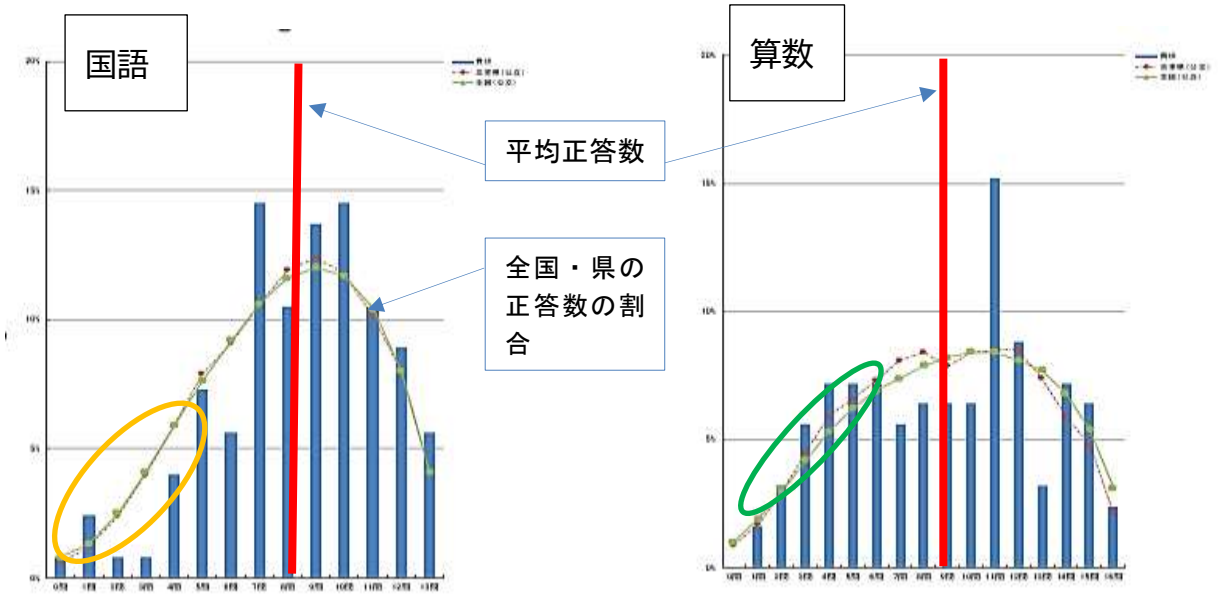
教科調査（国語・算数・理科）「知識及び技能」「思考力・判断力・表現力等」を問う問題

質問調査　生活習慣や学習習慣、授業等に関する質問（端末から回答）

２　教科に関する調査結果（平均正答率）　（%）

| 教科 | 本　校 | 全　国（公立） |
|---|---|---|
| 国語 | 全国を上回る | 60.9 |
| 算数 | 全国と同等 | 56.4 |

３　正答数分布グラフ（横軸：正答数　縦軸：割合）




【傾向】

・　国語は全国や県と比べ、正答数の多い児童の割合がやや高く、正答数の少ない児童の割合は低い。（黄色の楕円）

・　算数は全国や県と比べ、正答数の少ない児童の割合が高い。（緑の楕円）

## 4　成果と課題

○　平均正答率では国語は全国平均を上回り、算数はほぼ同等である。

○　国語「読むこと」領域においては正答率 72.2%（全国比＋6.3 ポイント）と大きな強みとなっている。読む YOMU ワークシート等の読解力向上シートに取り組んだ成果ではいかと捉えている。

◯　記述式問題の平均正答率は国 58.9%（全国比＋4.0 ポイント）、算 50.1%（全国比＋1.6 ポイント）であり、国語・算数共に全国を上回っている。

▲国語においては、漢字の書き取り（不思議）、記述の中でも複数の情報から要点を抜き出し「引用して」自分の考えが伝わるように書く問題において正答率が低かった。

▲昨年度から引き続き記述問題の無解答率は高い。（国語：３三 15.6%、）最終問題でもあるので、時間配分の課題でもある。

▲算数においては、体積や単位量あたりの数など、計算ではなく概念的な理解や式の意味を理解できていない。

▲学校としては家庭学習の時間は増加しているが、全国平均とは大きく離れている。

## 5　課題と捉えている問題

○国語　2　三（イ）

漢字を使って書き直す

なぜ、長そでの服を着ているのか　イふしぎ　に思い、暑い夏を快適に過ごすための衣服のくふうについて調べることにした。

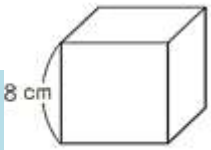
【誤答例】「不」・「思」は解答しているが、「議」と解答していない。【指導にあたって】習った漢字を使うように指導する。

○算数

1　立方体の体積の計算による求め方について理解しているかどうかをみる

立方体や直方体について考えます。

(1)　1 辺が 8 cm の立方体の体積が何 cm³ かを求める式を書きましょう。
ただし、計算の答えを書く必要はありません。




本校正答率 62.4%
【全国比－10.3 ポイント】

正答
8×8×8

【誤解答例】
8×8　→正方形の面積の公式と混同
8×3 または 8＋8＋8
★面積や体積の理解に課題

【指導にあたって】
立方体や直方体は単位体積の立方体を積み重ねてつくることができることから、かけ算を用いて、直方体や立方体の体積を求められることを理解できるようにする。

(3)　1 cm³ の立方体が 36 個あります。36 個をすべて使って、高さが 4 cm の直方体を 1 つ作りました。
その直方体の体積は何 cm³ ですか。
答えを書きましょう。

本校正答率 38.4%
【全国比－1.7 ポイント】

正答
36 cm³

【誤解答例】
9　→36÷4＝9
4 の倍数（36、144 など）→36×4＝144
★体積の意味についての理解に課題
問題に出てくる数字を割ったり、かけたりしてしまう。
【指導にあたって】
体積も面積などと同じように、単位の大きさを決めるとそのいくつ分として数値化して捉えることができることを理解できるようにする。

2

問題場面の数量の関係に着目し、二つの量の割合として捉えられる数量の関係について考察できるかどうかをみる

(1) 先月の入園者数は 74291 人でした。
74291 を、千の位までのがい数で表します。百の位の数を四捨五入してできる数を、下の ア から エ までの中から 1 つ選んで、その記号を書きましょう。

ア 70000
イ 74000
ウ 74300
エ 75000

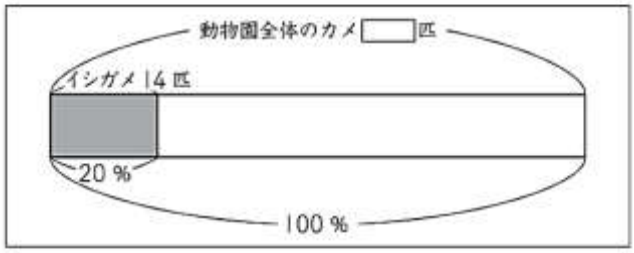
本校正答率 57.6%
【全国比－8.9 ポイント】

正答
イ

【誤解答例】
ウ 74300
百の位を四捨五入し切り捨てるところを、十の位を四捨五入し百の位までの数とした。

【指導にあたって】
概数の意味や四捨五入の意味を理解できるようにする。

(2) この動物園にはいろいろなカメがいます。そのうちイシガメは 14 匹います。イシガメの数は動物園全体のカメの数の 20 %です。




この動物園全体にはカメが何匹いますか。
求める式とその答えを書きましょう。

本校正答率 48.0%
【全国比－5.1 ポイント】

正答
式 14÷0.2
14÷20×100
14÷2×10
14×5
答え 70

【誤解答例】
100 を使った式を解答 14×100 など

【指導にあたって】
（基準量）×（割合）＝（比較量）
数直線から数量の関係を捉える「全体が 1、基準量の 0.2 にあたる数が 14」
□ × 0.2 = 14 → 14 ÷ 0.2 = □




その他の課題： 小数の計算 6.37－5、5－3.76＝2.76【誤答】
算数は基礎基本的な問題の正答率が低い。

・ 数量関係を式にできず、具体的な数量関係のイメージができない。
→ 問題文を読み、分かっていることや求めていることを明らかにする。
情報を整理したり、絵や図、具体物でイメージしたりする。
言葉と式を結び付け、自分の言葉で説明する。（言語化）

鈴鹿市では、「こども主体の授業」の取組を進めています。仲間と学び、こども自身が選択や決める機会を設けながら、すべてのこどもが安心して学べる授業づくりに努めています。
また、本校では以下の活動の充実も図っています。
・ こどもが中心となって活躍できる学校行事等特別活動の充実
・ 自分の想いを素直に綴り、ともだちと交流し合う機会の充実（綴り方）
併せて、日々の授業で、こどもたちの疑問や「問い」を活かす授業も目指して取り組んでいます。

## ６　児童質問紙調査

### (1)今求められる力　※肯定的な回答をした割合(%)　※ 肯定的回答:そう思う･どちらかといえばそう思う

| | 質問事項 | 玉垣小 | 全国 |
|---|---|---|---|
| 主体的な学び | (３９)授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいた | 77.8 | 77.6 |
| 対話的な学び | (４２)学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気づいたりすることができている | 84.9 | 85.7 |
| 深い学び | (４４)授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思う | 79.3 | 80.8 |
| 個別最適な学び | (４１)授業は、自分にあった教え方、教材、学習時間などになっていた | 77.8 | 80.8 |
| 協働的な学び | (４６)授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切にして、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる | 88.1 | 91.4 |
| 学びのアウトプット | (４０)授業では、各教科など学んだことを生かしながら。自分の考えをまとめる活動を行っていた | 69.0 | 73.4 |

昨年度から､｢こども自ら問いをもち､主体的に学び合う｣授業を目指して取り組み､(３９)はその成果と捉えています。また、その他の項目についても全国を下回ってはいるものの、昨年度と比べ、全ての項目で差は縮まっています。引き続き、各項目を意識した授業改善に取り組んでいきます。

### (2)非認知能力

| | 質問事項 | 玉垣小 | 全国 |
|---|---|---|---|
| やりぬく力 | (２２)分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか | 78.6 | 79.4 |
| 自制心 | (５０)学級会における学級での話合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいる | 72.2 | 77.3 |
| 自己肯定感 | (8)自分には、よいところがあると思う | 80.2 | 85.6 |
| 社会性 | (１１)人が困っているときは、進んで助けている | 89.7 | 92.7 |

各項目、全国を下回りましたが、(１）と同様、昨年度と比べると、「自制心」以外の３つの項目では全国との差が縮まりました。(「自制心」は昨年度と同等）特に、「自己肯定感」については、昨年度は全国比－13.4 ポイントを－5.4 ポイントにまで縮めることができました。今年度は代表委員会を中心とした安心・安全な学校生活の取組を進めたり、昨年度から引き続き「つづり方」に取り組んだりし、自分や友だちのよさを見つけていきます。

### (3)家庭学習

| 質問事項 | 玉垣小 | 全国 |
|---|---|---|
| （２３）学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか （学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます）【１時間以上】 | 78.6 | 79.4 |
| （２５）土曜日や日曜日など学校が休みの日に、１日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか （学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含みます）【１時間以上】 | 33.4 | 39.0 |

全国を下回っているものの､昨年度に比べ､平日１時間以上学習するこどもの割合は増加し、改善傾向にあります。ただし、休日は全国に比べても、非常に少なく懸念されることです。全国的にも、スマホなどの視聴時間の増加による家庭学習の時間の減少が課題となっています。基礎・基本の定着を図る学習とこどもが自分で考えて取り組む（自主学習）のバランスを考慮し家庭学習の充実を図ります。

## (4)読書

| 質問事項 | 玉垣小 | 全国 |
|---|---|---|
| （２６）学校の授業時間以外に、普段、１日あたりどれくらいの時間、読書をしますか（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）【１０分以上】 | 38.2 | 46.1 |
| （２７）昼休みや放課後に、本（電子書籍の読書も含む。教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）を読んだり、借りたりするために、学校図書館にどれくらい行きますか【月１回以上】 | 23.8 | 34.9 |

全国的にも読書離れが進んでいます。言葉の力や想像力を養うためにも読書は大事な活動です。こどもたちが本をすぐに手に取れるように、10 月から図書室から一番遠い北館４階に「出張図書館」を設け、本を配架し貸出を始めました。

## (5)その他　全国との比較から

◎本校の強みと捉える項目

| | 質問事項 | 玉垣小 | 全国 |
|---|---|---|---|
| 生活 | (1）朝食を毎日食べていますか | 94.4 | 93.3 |
| 心理的安全性 | (7）学校での悩みについて、あなたの親や家族は、どれくらいあなたとはなしますか【月に１以上】 | 56.3 | 54.8 |
| | (２１)普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか【よくある、ときどきある】 | 92.9 | 92.5 |
| ICT機器活用 | (３６－３)あなたは自分がPC・タブレットなどのICT機器を使って情報を整理する（図、表、グラフ、思考ツールなどと使ってまとめる）ことができると思いますか | 71.4 | 69.5 |

- １日のスタートにあたり、朝食をとってこどもたちを学校に送り出していただいていることや家庭でこどもの悩みを聴いていただいていることが、心の安定につながります。
- 総合的な学習の時間を中心に、端末を使い、収集した情報の整理を行っている活動が ICT 機器の活用力を高めています。

●本校の課題と捉える項目

| | 質問事項 | 玉垣小 | 全国 |
|---|---|---|---|
| 社会性 | （１０）将来の夢や目標をもっていますか | 73.8 | 81.8 |
| | （１２）いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか | 93.6 | 96.2 |
| 地域 | （３３）地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか | 76.2 | 80.1 |

学校・家庭・地域が連携し、こどもに関わり善悪の判断やさまざまな体験・経験（郷土教育・キャリア教育等）を行うことで、社会性や地域への愛着を育みます。

【お願い】

各御家庭では、こどもたちの豊かな学びのため、生活習慣、学習習慣の定着に御理解と御協力をお願いします。

・規則正しい生活習慣（早寝・早起き）
・ゲームやスマホの使い方や使用時間を家族で話し合い、守っていくように見守る
・家庭学習の習慣（高学年は１時間以上です）
・読書は心の栄養です。読む力、想像する力、さまざまな力を育みます。